

WHO ファクトシート

思春期の妊娠

Adolescent pregnancy

ファクトシート No. 364

2014 年 9 月

重要な事実

- ・毎年 15～19 歳の少女約 1600 万人及び 15 歳未満の少女約 100 万人が出産し、その多くは低・中所得国において出産している。
- ・世界的に、妊娠及び出産中の合併症は 15～19 歳の少女の死亡原因第 2 位である。
- ・毎年、15～19 歳の少女約 300 万人が、危険な中絶をしている。
- ・思春期の母親から誕生した乳児は、20～24 歳の女性から生まれた乳児にくらべて、死亡するリスクがかなり高い。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分についての日本語版の翻訳権を WHO 事務局長より付与され、WHO 健康開発総合研究センター（WHO 神戸センター）の協力のもと作成したものです。日本語版に対する責任は全て日本 WHO 協会が負います。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Adolescent pregnancy ファクトシート原文は [こちら](#)